



柚子の香

令和6年 12月16日
八王子市立上柚木中学校だより
第8号 (通算 349号)
校長 三田村 裕

ゆく年 くる年

2学期の授業日数はあと7日、令和6年も残すところ2週間余りとなりました。

今年は年明け早々能登半島地震や飛行機事故が発生し、また世界のあちこちで政情が不安定となって紛争等が発生したり、気候変動による風水害が頻発したりするなど、多事多難な1年だったように思います。多くの尊い命が失われました。

そんな中、本校においては、大きな事件や事故もなく年の瀬を迎えられそうです。生徒たちを、そして私たちを支えてくださった保護者や地域の皆様に感謝申し上げます。

来る令和7年(2025年)はどのような年になるのでしょうか。予測が困難で先行きが不透明な時代へとさらに向かっていくように思います。だからこそ私たちは生徒たちに、世の中の変化に適応しつつも我が道を着実に歩む力を身に付けさせたいと考えています。修学旅行や移動教室をはじめ、教育活動を様々見直しているのはこのためです。今後も引き続き「生徒の成長のために必要なこと」を常に念頭に置き努力してまいります。

よいお年をお迎えください。

道徳授業地区公開講座

進路学習担当主幹 五十嵐 育子

1月18日(土)に道徳授業地区公開講座を実施します。毎年、学校公開日と併せて行っていますが、今年度も同様に、教科の授業と道徳授業とを行います。

道徳の授業は、週に1時間、年間35時間を教育課程に位置付け、自分と向き合う、人や社会と関わり合う、生命や自然と関わり合うなど、人間としての生き方の教育を行っています。また、どんな物事も自分事として捉え、多面的、多角的に考えることで、様々な価値に気付くことを目的としています。その道徳授業を公開することで、保護者や地域の皆様と共に、これからの道徳教育の更なる充実を図るための一つの機会として、この日を設けています。そして、授業参観された保護者の皆様がご家庭に帰り、お子さんともう一度その日の道徳を振り返り、「人間としてより良く生きるということがどのようなことなのか」などを話し合っただけだと、地域でできる道徳教育の推進につながります。

さて、今回の公開講座では、第1学年は「生命の尊さ」をテーマにした授業を、第2学年は一般財団法人LINEみらい財団の講師と共に「節度、節制」をテーマにSNSとの付き合い方の授業を、第3学年は「集団や社会との関わり」をテーマに「二通の手紙」を題材にした授業をそれぞれ行います。各学年が独自のテーマで授業を展開しますが、どのテーマも毎日の生活の中で当たり前のように経験している身近な出来事です。「知ってる、知ってる。」「この間見た。その光景。」「自分もそんな気持ちになったことある。」「そんなときどうするの?」。そんな子供たちのちょっとしたつぶやきを共有し、子供たちの心に訴えかけたいと思います。また、2校時には、体育館にて保護者を対象にした「SNSトラブルを起こさ

ないために」をテーマに LINE みらい財団の講演会を行います。SNS は便利である反面、連日のように報道されているとおり様々な事件やトラブルへの入口にもなります。我が子や我が家族を守るため、授業参観の合間に、ぜひ足をお運びください。

なお、当日は1・2校時に授業、3校時に道徳、4校時には協議会を行います。これまでの協議会でも、参加された方からの多くの貴重なご意見をいただき、私たち教職員も新たな発見がありました。今後も道徳教育の更なる充実に努めてまいります。たくさんの方のご参加をよろしくお願いいたします。

今後の移動教室について

第1学年主任 神保 真実

これまで移動教室は第1学年でスキー・スノーボード教室を行ってきました。しかし、生徒数減とそれに伴う教員数減により、一つの学年が単独で行うには、引率の教員数が少なくなってしまう支障が生じることから、今年度は移動教室を行わず来年度に第1・2学年合同で移動教室を行うことにしました。併せて、物価が上昇する中、スキー・スノーボード教室では保護者の費用負担がけっこうな額となることが予想されること、また、冬季にはインフルエンザが流行することから、少人数であることを生かし農林水産業の体験に内容を変更することにしました。そして近畿日本ツーリスト、JTB、名鉄観光の3社にプレゼンテーションを依頼し、そこに参加していただいたPTA学年委員さんの意見も参考にしながら名鉄観光に業者を決定しました。

決定した行き先は南信州です。南信州とは、長野県の南端に位置し、飯田市と下伊那郡からなる自然豊かな地域です。その自然の中でふだんの生活の中では知ることのできない農家の仕事や暮らしを学ぶこと、集団生活を通じて責任感やルールの大切さを学ぶことなどを目的と考えています。

令和7年9月29日(月)から10月1日(水)までの2泊3日で行います。1日目から2日目の午前中にかけては農業体験を行い、1泊目は各農家の家に泊めてもらいます。体験の内容は滞在する農家によって異なりますが、野菜の収穫や果樹作業、圃場整備や薪割り、家畜作業など農家の日常でできることを行います。夕食の準備なども含め、家族の一員として農家の生活を体験することができます。2日目の午後は南信州SDGsプログラムを、グループに分かれて体験する予定です。地域資源を活用した観光を考えること、地域の伝統芸能の活動の在り方について考えること、地域農業が抱える課題解決に取り組むことなどのプログラムが用意されています。2泊目は昼神温泉ユルイの宿恵山に宿泊します。日本一の星空の村・阿智村にあり、天気がよければ浪合パークというところで星空観賞を行う予定です。3日目はハイキングを行い、大自然の中を散策します。

詳細は、これから準備していきます。保護者の皆様には、今後費用の積み立てなどご負担をおかけしますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

第1学年校外学習

校外学習担当 村田 允

令和7年1月31日(金)に第1学年は校外学習で午前職場訪問、午後都内巡りを行います。目的は、①時間管理や計画立案などを通して社会において見通しをもって適切

な判断をできる力を養うこと、②班行動やテーマ学習（キャリア教育）を通して協調性と課題を解決する力を養うこと、③都内にある歴史的建造物や文化施設に行き、自分たちの住む東京の良さに気づき、文化・経済・産業などの発展の歴史を理解し、広い知識を身に付けることです。

職場訪問では、警視庁・羽田クロノゲート・文部科学省・Game With・プラス・ソニー・清水建設の7つの官公庁や企業の中から班単位で1か所を訪問します。事前準備として各班が行く訪問先の調べ学習を行いました。どのような職場なのか、どんな商品やサービスを扱っているのか、いつからあるのかなどを班で協力して学習していました。この職場訪問を通して働くということはどういうことなのか、働くために何が大事なのかを生徒につかんでほしいと願っています。



都内巡りでは、東京の良さを学べる施設を各班で選んで見学します。事前準備として、東京の文化・食・技術・芸能・史跡・城跡の6テーマから一つを選び、テーマについて学べる施設を生徒たちで調べスライドにまとめました。生徒からは「東京にこんなところがあったんだ。」や「興味あるところが多くて悩む。」などの声が出ていました。

これから、1日をどのように行動するか、この施設に行くためにはどの電車に乗ればいいのか、この電車に乗るためにはお金はどのくらいかかるのかなどを班で協力して考えます。1学期に行った「八王子学習」のときよりも成長した姿の見られることを期待しています。保護者の皆様には、生徒が考えた予算や会計決済を確認していただきますが、よろしくお願いたします。

今回の校外学習でも事故やトラブルがないよう努めてまいります。

第2学年校外学習

第2学年主任 大橋 里

令和7年1月31日（金）に2年生は都心方面へ校外学習に出かけます。今回は、墨田・浅草・両国方面、上野方面、皇居周辺・東京駅方面、芝浦公園方面を中心に班で計画を立てて行動します。校外学習に向けた追加費用のご負担につきましては、急なお願いをさせていただき申し訳ございませんでした。ご協力いただき誠にありがとうございました。

さて、今回の校外学習では長崎への修学旅行に向けて、①計画に沿って時間管理をしながら行動する力、②公共の場において、マナーを守って適切な判断をしながら班で協力し行動する力、③テーマ学習を通して、自分たちの住む東京と長崎との関連性を見付けながら多面的に物事を捉え、課題を解決する力、といった三つの力を付けることを目指しています。

長崎の修学旅行では、軍艦島、平和公園を学年全員で訪問します。さらに長崎の伝統文化である龍踊り（じゃおどり）を体験する予定です。そこで、校外学習もこれら三つと関連させ、再生資源、平和、文化について課題を設定し、指定した施設を中心に班でテーマ学習をさせていくこととしました。それぞれ関連する施設で学んだことを発表し合いながら、多面的に東京と長崎を比較させ、学びを深めていきたいと思っております。



皇居

再生資源については、水素情報館（江東区）、ガスの科学館（江東区）のいずれかを訪問し、現在私たちが抱える資源の問題をいかに解決していくか、また軍艦島と関連させながら枯渇する資源について学習します。平和については、東京大空襲・戦災資料センター（江東区）、第五福竜丸展示館（江東区）のいずれかの施設で、東京で起きた戦災や核兵器について学び、長崎の原爆と関連させながら平和について考えます。先日のノーベル平和賞授賞式においても、長崎の方がスピーチされていました。来年は戦後80年という節目の年となります。平和について戦争を通して学びを深めていきたいと思えます。最後に文化については、深川江戸資料館（江東区）、江戸たいとう伝統工芸館（台東区）いずれかの施設で、東京に残る文化について学び、長崎に残る文化と比較しながら、伝統文化に関する理解を深めます。

テーマ学習と併せ、学校外で生徒が班行動をすることに慣れるよう、3時間程度自由に行動する時間を設定しています。昼食場所や行きたい場所について班長を中心に話し合い、班で計画を立てていきます。12月2日（月）に席替えを終え、校外学習班での生活がスタートしています。また、12月12日（木）に第1回校外学習実行委員会、13日（金）に係会と本格的に準備も始まりました。実行委員を中心に、生徒が主体的に計画を立て行動していけるよう、指導していきます。事前学習や事後学習等で作成した資料について、廊下等に掲示いたします。学校公開のときなどにぜひご覧ください。

授業改善推進拠点校の取組

研究主任 大橋 里

上柚木中学校は、東京都教育委員会より授業改善推進拠点校の指定を受け、令和6年度・7年度の2年間を使って研究を進めています。

授業改善推進拠点校とは、生徒の学力向上を図ることを目的とした研究を行うよう指定された学校のことです。今回は「学びに向かう力等」に注目した研究を進めるよう指定を受けています。この指定を受けた学校は都内で10校あります。

「学びに向かう力等」とは、通知表でいうと「主体的に学習に取り組む態度」の部分にあたります。私たちは、「主体的に学習に取り組む態度」をいかに育てていくか、そして評価につなげていくか、授業実践をしながら考え、研修を重ねています。「主体的に学習に取り組む態度」の評価は、提出物を出したか、出していないか、何回発言したのか、などといった回数による評価ではなく、単元のめあてを達成するために生徒が自らどのような試行錯誤を重ねたのか、学習の工夫をしたのかを評価していくものです。そのためには、教える側が授業のめあてをいかに明確に設定するか、めあてを達成するための方法をいかに分かりやすく伝えていくかが求められます。

今年度は、全国学力・学習状況調査や東京都教育委員会が作成した意識調査を通して、上柚木中生がどのような意識をもって学習に取り組んでいるのか、またどのような課題があるのかを分析するところから始めました。特に「主体的に学習に取り組む態度」の部分を中心に分析を進めてきたところ、「学習を工夫する力」に課題があることが分かってきました。授業で「分からない」ことが出てきたときに、どのような学習方法をとれば、「分からないことが分かるようになるのか」で困っている生徒が多いことが分かりました。

そこで、研究テーマを「生徒一人一人が学び方を選択・発見する授業づくり」とし、研究を進めていくこととしました。また、学習を工夫する力について、東京大学名誉教授の市川伸一先生に講師としてお越しいただき、授業実践や9月に実施した研究授業へのご指導を賜りました。

学習の工夫については、まず教員側が「教える・体験させる」ことで、生徒が自分に合った学習方法を「選択する」ことができるようにしていきたいと考えています。この経験を積み重ねていくことで、学習内容に応じて自分に合った方法を自ら選択できるようになり、さらにはいくつかの学習方法を組み合わせて工夫することができるようになるのではないかと考えています。授業や家庭学習の中で、生徒が自ら学習方法を工夫できるよう、様々な試みをしていきます。

1 1月末に再び意識調査を行い、実践の成果について振り返りました。学習の工夫について直接尋ねた「学習をしてもできるようにならないときは、学習の方法を工夫している」という項目について、「当てはまる」、「どちらかという当てはまる」と答えた生徒が、実施前は全体で63.6%だったのに対し、1年生が65.7%、2年生が64.1%、3年生が64.6%とわずかながら上昇が見られました。成果を感じているところとして、「授業では、問題や活動に取り組んで『できた』『分かった』と感じることが多いと思う。」との質問に対し、「当てはまる、どちらかという当てはまる」と答えた生徒が、実施前は全体で76.6%だったのに対し、1年生が84.4%、2年生が92.2%、3年生が78.4%と飛躍的な上昇が見られました。教師が学習の仕方について細かく説明したり、いくつかの方法を示したりしたことで、めあてを達成できる生徒が増え、それが「分かった」「できた」につながったのだと考えます。引き続きこの試みを続けながら、めあてに応じて自ら学習を工夫できる生徒を育て、「自立する学習者」を目指していきます。

来年度は、授業実践や成果について都内の全小中学校の教員を対象に発表していきます。意識調査や研究授業等に引き続きご理解・ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

上柚木中生の活躍

八王子市中学校科学コンクール	努力賞	〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇（全員〇年〇組）
----------------	-----	------------------------

1月末までの主な行事

1 2月 16日（月）生徒会朝礼 24日（火）特別清掃 25日（水）終業式 26日（木）冬季休業日始 30日（月）学校閉庁日（1月3日まで） 1月 7日（火）冬季休業日終 8日（水）始業式、安全指導 14日（火）専門委員会 16日（木）避難訓練、おおるり展始 18日（土）学校公開・道徳授業地区公開講座	1月 20日（月）生徒会朝礼、おおるり展終 26日（日）都立推薦入試 27日（月）都立推薦入試 29日（水）小中一貫教育の日 31日（金）校外学習（1・2年）、都立推薦入試合格発表 学習教室 1 2月：16日(月)、18日(水)、23日(月) 1月：15日(水)、20日(月)、22日(水) 27日(月)
--	---